

採用・定着につながる

“受け入れ体制づくり”の実務ポイント

【7月開催】川崎商工会議所 主催 経営革新セミナー

人手不足が深刻化する中、中小企業にとっては「採用」と「定着」を同時に進めていくことが、持続的な経営のために重要となっています。本セミナーでは、障害者雇用率の引き上げを踏まえた障害者人材活用と、神奈川県が実施する外国人材活用支援について、2部構成で分かりやすく解説します。

制度の概要紹介に加え、職場における受け入れやコミュニケーションのポイントを押さえ、外国人材や障害者雇用を含む多様な人材が、安心して活躍できる職場づくりに向けた第一歩につなげます。

【第1部】障害者の戦略的雇用

- ・障害者雇用は職場の戦力となるとともに、周囲の健常者社員は心理的安全性が高まることで、小集団活動レベルのイノベーションの発生や、リスクマネジメントの向上につながります。
- ・多様な人材を活用することは、経営改善と企業成長につながることから、多様な人を自然に受け入れる姿勢—社員一人ひとりの理解と行動変容が企業文化を変える点を解説します。
- ・企業メリット：組織力・ブランド価値・ダイバーシティ経営の推進
- ・令和8年7月に予定されている障害者雇用の法定雇用率引き上げの概要と、企業が活用できる主な助成金・支援制度について、ハローワーク職員がポイントを絞って紹介します。
- ・川崎市が取り組んでいる企業向け障害者雇用支援機関「企業応援センターかわさき」を紹介しします。

講師

横浜市立大学
教授
影山摩子弥
(かげやま まこや)



～プロフィール～
1989年横浜市立大学商学部専任講師を経て、2001年同教授。2005年同大学国際総合科学部教授。2006年同大学CSR&サステナビリティセンター長。2009年同大学都市社会文化研究科教授。2019年同大学国際教養学部教授。現在に至る。厚生労働省労働政策審議会障害者雇用分科会等において、委員を務めるなど、ダイバーシティ経営の有効性を提言している。

説明者

神奈川県雇用労政課
課長代理
徳永 健太郎
(とくなが けんたろう)



～プロフィール～
2005年東京大学大学院新領域創成科学研究科修了(国際協力学修士)。同年神奈川県に入庁し、地方公共団体金融機構、総務省自治税務局への派遣を経て、医療通訳事業、外国企業誘致、スタートアップ支援を実施。前ベトナムフェスタin神奈川実行委員会事務局長。現在は、人材確保支援・雇用対策担当の課長代理として、外国籍の方を含むすべての働く人が活躍できる社会の実現と県経済のさらなる活性化を目指して、日々奮闘中。

【第2部】神奈川県：
外国人材活用支援

- ・雇用ステージに合わせた支援：
雇用検討段階から採用、定着まで。海外現地面接会、インターンシップ奨励金、高度外国人材受入支援補助金など実務面と財務面の双方から支える支援策についてご説明します。
- ・無料相談による支援：
「何から始めて良いかわからない」という企業が無料で相談できる「かながわ外国人材活用支援ステーション」について紹介します。
- ・事例紹介：
既に外国人材を採用し、活躍している事例を基に、外国人材雇用が人手不足の解消に留まらず、企業の発展に貢献している事例を紹介します。

日 時：令和8年7月17日(金) 15時00分～17時00分

場 所：川崎商工会議所 2階会議室 (川崎区駅前本町11-2川崎フロンティアビル2階)

定 員：50名

参加費：会員無料 (非会員3,000円※別途お支払方法をご案内いたします)

協 力：神奈川県・川崎市



二次元コード